

資料3 自動車事故被害者の抱えている課題 の現状認識

背景

- 平成22年度より、被害者団体等と意見交換会を開催し、被害者等のニーズに応じた被害者救済対策を行うべく、各種課題の整理を行い、対応を進めてきたところ。
- 当事者のニーズは日々置かれた状況により変化していくため、引き続き**ニーズに合った被害者救済対策を進めていくため、被害者団体等との意見交換会を開催。**

令和元年度の意見交換会

開催状況

[参加者] (敬称略)

有識者 赤塚 光子
(元立教大学教授)
麦倉 泰子
(関東学院大学教授)

被害者団体 桑山 雄次
(家族の会)
古謝 由美
(友の会)
外崎 信子
(友の会ナナ)
横山 恒
(家族の会わかば)
徳政 宏一
(LifeNet)

厚生労働省、NASVA

事務局(国土交通省)

[開催回数]

計4回 開催

第1回 元年 8月27日(火)
第2回 元年11月12日(火)
第3回 2年 1月31日(月)
第4回 2年 5月21日(木)
※書面開催

今後の取組の方向性

① 支援制度の周知、各種相談支援窓口等との適切な連携及び情報提供の充実

事故にあった直後から在宅生活に至るまで、それぞれの状況に応じて、必要な支援や情報提供が適切になされることが重要。
支援に関する情報は事故後早期の入手が望ましいことから、自治体に設置されている相談窓口をはじめとしたあらゆる場所で提供されるよう、支援関係機関との連携を促進・強化する。
また、各種相談・支援の際に活用できるようパンフレット・HP等による情報提供を継続し、さらに情報がわかりやすく、かつ、的確に必要なとされる方に提供されるよう周知環境の充実を図る。

② 短期入院・入所の利用促進をはじめとする在宅生活の支援と介護者なき後を見据えた取組の充実

在宅で生活する後遺障害を負った被害者の支援には、短期入院・入所の利用促進や介護者なき後を見据えた取組が重要。
在宅生活の支援については、これまでに意見交換会、交流会、アンケートを通じて得られたご意見を踏まえ、リハビリテーションの充実など自動車事故被害者のニーズの高い取り組みに着目した短期入院・入所の利用促進策の検討を進める。こうした取り組みを進めることにより、自動車事故被害者の満足度向上、お試しや緊急時などの利用、介護者なき後を見据えた短期入院・入所の利用経験につなげていくことが重要である。
介護者なき後を見据えた取り組みについては、生活の場を確保する観点から、グループホーム等へ適切な支援を継続して行うとともに、日々の財産管理や身上監護の観点から、成年後見制度利用促進専門家会議において示された中間検証の方向性を踏まえつつ、必要な施策の検討を進めていく必要がある。

③ 支援施策の充実に向けた取組

被害者保護につながる支援施策は、効果的、かつ、利用者が分かりやすく安心して利用できるものとするのが重要。
具体的には、療護施設の今後のあり方、再生医療をはじめとした医療・介護技術の進歩への対応、介護者なき後への備え、事故直後や高次脳機能障害・脊髄損傷の自動車事故被害者への支援策の検討など、真に自動車事故被害者の方々が必要とされ、かつ、効果的な施策の検討を令和2年度に立ち上げることを予定している「今後の自動車事故被害者救済対策のあり方に関する検討会」において実施する必要がある。

[令和2年度 開催スケジュール]

「今後の自動車事故被害者救済対策のあり方に関する検討会」において被害者団体と意見交換を進めていく予定。

遷延性意識障害

	日中	夜間	課題
急性期	急性期病院		一貫症例研究型委託病床における臨床研究の症例の蓄積や研究成果のヨコ展開
回復期	回復期リハビリテーション病院		
慢性期	療護施設		<ul style="list-style-type: none"> 療護施設の拡充(待機患者の最小化) 療護センターの老朽化対策 療護施設の今後のあり方
慢性期	日中サービス	在宅	<ul style="list-style-type: none"> 療護施設退院後のリハビリ機会確保 協力病院・施設における重度後遺障害者の受入能力向上(医療行為等への対応等) NASVAと関係機関の連携強化
介護者なき後	介護医療院・療養病床 障害者支援施設・グループホーム等		<ul style="list-style-type: none"> 生活の場の確保 財産管理・身上監護(成年後見制度の利用等)

脊髄損傷

	日中	夜間	課題
急性期	急性期病院		
回復期	回復期リハビリテーション病院		<ul style="list-style-type: none"> 回復期リハ病棟における入院期間(180日)を超えてリハビリ(治療)を要する場合の病院等の確保
慢性期	日中サービス	在宅	<ul style="list-style-type: none"> 協力病院・施設における重度後遺障害者の受入能力向上 (医療行為等への対応等) NASVAと関係機関の連携強化
介護者なき後	介護医療院・療養病床 障害者支援施設・グループホーム等		<ul style="list-style-type: none"> 生活の場の確保 財産管理・身上監護 (成年後見制度の利用等)

高次脳機能障害

	日中	夜間	課題
急性期	急性期病院		
回復期	回復期病院		<ul style="list-style-type: none"> 継続的にリハビリ(生活訓練)を要する場合の施設等の確保
慢性期	日中サービス (自立訓練等)	在宅	<ul style="list-style-type: none"> 協力病院・施設における高次脳機能障害者の受入能力向上 (社会的行動障害等への対応等) NASVAと関係機関の連携強化
介護者なき後	介護医療院・療養病床 障害者支援施設・グループホーム等		<ul style="list-style-type: none"> 生活の場の確保 財産管理・身上監護 (成年後見制度の利用等)